



Amir Tsarfati

[2021年4月23日中東時事アップデート]

—エジプトはエチオピアを攻撃するのか—



(TV7タイムズオブザーバーのプロモーションビデオ)

「ダマスコに対する宣告。見よ。ダマスコは取り去られて町でなくなり、廃墟となる。」(イザヤ17:1)

エルサレム…「おまえも、もし、この日のうちに、平和のことを知っていたのなら。しかし今は、そのことがおまえの目から隠されている。」

(ルカ 19:42)

「その日、わたしは、エルサレムに攻めて来るすべての国々を捜して滅ぼそう。」(ゼカリヤ 12:9)



皆さん、シャローム。アミール・ツアルファティです。イスラエルのガリラヤよりライブ配信しています。ご覧いただいたのは、月に一度放映されているエルサレムTV7、タイムズオブザーバーのプロモビデオです。

では、お祈りをして、盛りだくさんで超重要なアップデートを開始しましょう。

お父様、あなたに感謝します。私たちは、この混沌、混乱、恐怖、欺瞞に満ちた世界で、あなたの決して変わらない、変わることをできないものにしがみつुकことができます。あなたは変わることがないので、ヤコブの子孫が滅ぼし尽くされることはありません。「しかり」であり、「アーメン」である、あなたの約束に感謝します。あなたの御言葉をありがとうございます。あなたの真理のみことばに感謝します。それには欺きがなく、あなたが嘘をつくことがないことを感謝します。あなたに感謝します。この世は偽りの父によって支配されていますが、私たちは真理のみことばを知り、道、真理、いのちである方を知っています。ですから、お父様、今宵イスラエルのガリラヤから、また、フィリピン、オランダ、南アフリカであろうとアメリカであろうとどこでも、あなたが世界の出来事と、あなたのみことばを通して、私たち一人一人に個人的に語りかけてくださいますように。あなたに感謝し、あなたを祝福します。あなたのみことばの驚異を理解するために、私たちの心の目を開いてください。イスラエルの聖なる方、感謝なことに、私たちがあなたのようになり、あなたと似た者とされる道を下さった方、あなたに感謝し、あなたを祝福し、イエシュアの御名のもとお祈りいたします。アーメン。

アーメン！

さて、皆さん、シャローム。改めて、アミール・ツアルファティです。Facebook や YouTube で、皆さんと一緒に来て、とても感謝しています。我々は、これらのプラットフォームにいる限り、それらを使用します。私たちは、それを利用します。もちろん、私たちは、プラットフォームが使えなくなる日に備えています。しかし、今日はお伝えすることが非常に盛りだくさんです。まずは、イスラエルの不安定さから始めて、それから私たちの周辺の、ほかの場所で起こっていることに移ります。非常に驚くべきことです。

〈イスラエルの政情不安と、エルサレムでのアラブ人の暴力〉

まず、皆さんご存知のように、イスラエルには移行政府があり、第四回目の選挙は、どこの陣営も決定的な勝利を収めませんでした。ベンジャミン・ネタニヤフは、イスラエルの大統領から政権樹立の命令を受けました。しかし残念ながら、何も変化はなく、彼には確実な議席が52議席しかなく、さらに7議席は何となく獲得できそうです。それでも、彼が議会で政府を形成する必要がある、過半数の61議席にはまだ届きません。彼と連立を組むのかどうか、はっきりとしない7議席を持つ党は、反対側からより良いオファーをもらっていて、120議席の中で、7人のメンバーの党が首相の地位を受け取るかもしれません。彼らが、反対側と一緒にになれば、何らかの政府を形成することができますから。

皆さん、政治的混乱は、常に街の様子を反映しています。私たちは過去10日間、おもにエルサレムで、ユダヤ人とアラブ人の間での、数多くの暴力を見ています。残念ながら、ラマダンが始まっていて、何人かのアラブ人の十代の若者がカメラを手に、TikTokのライブで下らない配信をしたことから始まりました。彼らは電車の中や他の場所で、超正統派の若者数人に暴行を加え、それを自慢しました。もちろん、そのことがイスラエルのユダヤ人や、他の場所でも多くの人の怒りを買いました。今、私たちは10日連続、見るに堪えない衝突が継続して起こっているのを目撃しています。しかし、何よりも悲しいのは、エルサレムの管轄権を全く持たないパレスチナ当局が、それを利用して人々を扇動していることです。これが現在、ヒズボラ、ハマス、イランが支援するテレビ局など、全員が、ユダヤ人に暴行を加えて、エルサレムを手に入れようとしている、アラブ人たちの映像を流しています。ご覧ください。それはすべて大げさに語られているのです。なぜでしょうか？それは、相手側が困っている時こそ、彼らが自分たちの問題から注意を逸らす最良の方法だからです。パレスチナ自治政府は、ハマスに次の選挙で負けるかも知れず、彼らはそれを知っていて、選挙を延期しようとしているのです。イランも選挙運動の真っ最中で、ここ数週間、イスラエルから大きな苦しみを受けています。その他は言うまでもありません。ですから、私たちが今目にしているのは、この地域のあらゆる過激な要因すべてが——イスラエルには強い政府が存在しておらず、イスラエルには安定した政府が存在しないのを見て…そして、アメリカが、ここで起こっていることに関心がないのを見て、——明らかに彼らは、すべてが容認されていると見ている様子です。皆さん、それが彼らのやり方です。そして、彼らはそれを利用しています。これをご覧ください。彼らが、それをどのように見せているのか。



「我々は、こういったイスラエル人の銃から、アル・アクサ・モスクを守っている！」

「我々には銃はないかもしれないが、しかしこれを見ろ！」

我々には、火炎瓶と、ナイフと、アレとコレがある！」

皆さん、そのすべては、犠牲者面をして、可哀想な者、ゴリアテと戦っているダビデか何かのように見せるためのもので、本当にくだらないのです！しかし、イスラエル政府が、それについて何か決定的な行動をとって、まだ火種がかなり小さいうちにそれを抑えなければ、それははるかに大事件に発展する恐れがあります。敵のテレビが、非常に多くの人を洗脳しているのを、私たちはまさに見えていますから。非常に悪い結果になりうるのです。私は、そうならないことを心願していますが、それが本当に起こっていることです。私は、先日エルサレムに居たのです。エルサレムで二泊して、「世界統一宗教の台頭」に関する新しいメッセージを撮影していたのですが、その夜は、そういった衝突のために、警察や救急車や、その他もろもろの音で眠ることができませんでした。私の泊まったホテルから、ほんの数百メートルほどの所だったと思います。ですから、確かに何かあちらで燃っているのが分かります。それが今以上に悪化しないことを切に願っています。

さて、もう一つお伝えしますと、ベンジャミン・ネタニヤフは政権樹立できないかも知れず、彼の時代が終わる可能性があります。しかし、私は驚きません。ご存じのように、中東でも世界中でも、多くの変化が起こっていますが、神がそれらを許され、そして、神はまだ御座に置いておられます。最後に、それを見ていきます。

〈イラン情勢と、周辺諸国とイスラエル〉

また、皆さん、これも理解してください。イランに対するイスラエルの圧力は、まだ非常に強いのです。一週間前に起こった、ナタンツでの爆発によって、イランのウラン濃縮は、15年分逆戻りしたようです。先週お話ししたように、イランの議会は、濃縮施設のほとんどが無くなったという報告を受けています。消えてしまいました。彼らは、ウランを60%に濃縮し始めたとか何とかいう、新しい報告を出しましたが、皆さん、彼らの遠心分離機のほとんどはなくなったのです。そのことが、まさに、あれが見事な動きだった理由です。

さて、イランがフェイクニュースを始める原因となった、二日前の出来事をご説明します。ご覧ください。ご存知のように、イランには複数の諜報機関があり、少なくともそのうちの5つ——そのうちの大きい二つは、軍の諜報機関とイラン革命防衛隊の諜報機関です。これらは公式軍隊で、アッヤトッラーは軍隊を信用していないため、彼らは独自の軍隊、革命防衛隊を創設しました。だから、軍事諜報機関があつて、それから、彼らの仲間による準軍事諜報機関があります。こちらはより過激で、より厳しい。ですから、今二つの諜報機関があり、彼らは互に物事を隠し、お互いに戦い始めています。そして、そのようなことが起こるとあつという間に、第三者である国が入って来てそれを利用して、人々を採用します。そして、ナタンツの爆発の後、両方の諜報機関で、大規模な逮捕がありました。こちらで約100人、あちらでは約45人。それでもまだ戦いが続いており、どうやら、双方が理解しているようです。非常に多くの混乱があり、アッヤトッラーの政権は、おそらく終わりに近づいている…そして初めて、イランのイスラム革命防衛隊の多くが、実際に、イスラエルと協力することさえ望んでいるのです。そうすれば、翌日から、これまで何年も行なってきた、すべての残虐行為の責任を負わなくて済むからです。

それとは別に、三日前、「奇跡的に」とは言いませんが、驚くべきことに、この男が死にました。



モハマド・ホセイン＝
ザデ・ヘジャジ准将

こちらは、モハマド・ホセイン＝ザデ・ヘジャジ准将。イランの準軍事革命防衛隊アル・クッズ軍の副司令官です。この人は、アメリカが2020年1月に殺した男、カッセム・ソレイマニに次ぐ、二番目の指揮官です。覚えているでしょうか？カッセム・ソレイマニは、アル・クッズ軍の司令官でしたが、この人は彼の代理人でしたが、今や、死んでしまいました。さて、面白い事に、イランは、ヘジャジ准将は心臓発作で死亡したと発表しましたが、一時間後、彼の最も親しい友人の一人がツイッターでつぶやきました。

「彼は、心臓発作で死んだのではない。彼は、我々の指導者のために死んだのだ。」

言い換えれば、誰かが彼を殺害したのです。そして、興味深いことに、彼はすぐにその投稿を削除しました。

数時間後…ところで、コロナウイルスに苦しむ国にしては、このように大きな葬式が行われて、指導者や、いろいろな人が出席し、そして、彼らの多くは最近死亡しました。しかし、数時間後、同じイラン革命防衛隊アル・クッズ軍の別の将軍、北部の州司令官であるモハマド・アリ・ハグビン、イランの特別領土クッズ軍司令官の一人でしたが、彼はコロナウイルス合併症で死亡しました。





モハマド・アリ・
ハグビン北部州司令官

皆さん、24 時間以内に、主要なイラン将校、イランの準軍事エリート部隊アル・クズ軍のトップ二人が、いなくなりました。彼らは死んで、72 人の乙女がどこにも待っていないことを知りました。

そして、非常に驚くべきことに、先ほど言ったように、あまりにも多くの混乱が起きているので、一般のイラン人たちは、絶対にモサドが関与しているだろうと確信しているのです。さて、それが真実かどうかは、もはや本当に重要ではありません。政権は、彼らが弱いという、うわさや認識と戦わなければなりませんから。

さて、彼は心臓発作で死んだのでしょうか？おそらく違うでしょう。もう一人の男は、コロナウイルスの合併症で死んだのでしょうか？私たちには決して分かりません。彼らは二人とも、すでによみに下っていますから。しかし、モサドの認識と評判はあまりにも高いので、イランは何とかして、「イスラエルはそれほど強くなく、無敗ではない。イスラエル側にも亀裂があり、イランもまた強く、独自の能力を持っている」と示さなければならず、そこから二日前に起こったことに繋がります。

ではこれをご覧ください。非常に興味深いことが、一連して起こりました。イスラエルは、イランとシリアの間で起きている、すべての航空交通を見えています。747 貨物ジェットのフライトを見てきましたが、イランからダマスカスまで飛んで、我々は、彼がチョコレートやキャンディーを持ってきたのではないことを知っています。彼は、弾薬やロケット、武器を持って来ています。そこで、私たちは時々、すべてが来るのを待って、彼がそれをどこに持って行くのかを見届けてから、然るべき対応をします。それが、まさに私たちが行なったことです。二晩前、イスラエルはF-16 を送り、そこに到着した物のほとんどすべてを破壊しました。その攻撃の間、シリア軍は古い対空ロケットを使用しました。80 年代のロケットです。そのロケットの写真をお見せしましょう。



これです。これはSA-5 ガモンで、我々はそれをS-200 と呼びますが、地对空ミサイルです。ご覧の通り、今は、あちらリビアにあります。そして、それはSA-17 グリズリー稼働システムから発射されました。発射台です。良いですね？さて、それがそのミサイルであると、私たちはどうして分かるのか？なぜなら、

私たちはその断片を見つけたのです。それはすべてロシア語で書かれていて、私たちはその正体を知っています。さて、何が起こったかという、それらのミサイルの一つが飛び続けて、シリアからイスラエルに入りました。射程距離はほぼ 300 キロ、最終的にそれがイスラエル南部に着弾したのです。それがイラン人の想像力を刺激して、彼らはすぐにフェイクニュースを初め、まるで彼らの軍隊が、ファテフ地对地ミサイルを発射して、彼らが、実際に南部デモナにあるイスラエルの原子炉を標的にしたかのように報道したのです。このように、彼らは起こったことを利用して、まるで彼らが実際に、イスラエルの核開発計画への攻撃を開始したかのように、自国民にそれを見せたかったのです。なぜ、人々がこのようなゴミ情報に耳を貸すのか分かりません。



A) それは地对空ミサイルでした。

つまり、誰かが航空機を撃とうとしていたことを意味しています。それはディモナにあるイスラエルの原子炉への攻撃を意図したものではありませんでした。

B) そして第二に、少なくとも…私たちの手柄です。

我々はロケットの破片を見つけ、その内外に、ロシア語で書かれたロシアの刻印が成されていました。そして、ロシア軍はまた、彼らがS A-5を発射したことを認めています。

ところで、覚えているでしょうか？私が間違っていなければ、二、三年前、イスラエルの攻撃の一つで、それらのロケットの一発が入り、シリアで攻撃した後、イスラエルに戻って来たF-16に命中し、実際にイスラエル北部でそのF-16は墜落しました。それと全く同じではありませんが、同じ種類のロケットと発射台です。我々は、シリア軍がそれを所有していることを知っています。1980年代の古いもので、ロシア製です。彼らの所有で、つまりそういうことです。しかし、興味深いことに、同じ日に、イスラエル国内で興味深い武器を作る「秘密の場所」で爆発がありました。けが人はなく、大きな損害もありません。しかし、イランはそれさえ使ってこう言いました。

「見ろよ！あれは我々が仕掛けたサイバー攻撃だ！」

良いですか？…それで私は思ったのです。

「まあ、誰にもダメージを与えなかった二つのことを、彼らが自慢しても構わない。我々は、彼らが長年にわたって作成し、取り組んできたプログラムやプロジェクトの多くを破壊したことは、自慢しないけれど。」

そういうことです。さて、ナタンツ爆発の後、イランが言ったフェイクニュースの一つは、彼らの民兵たちが、イラク北部のモサド前哨基地を攻撃した翌日、——面白くないですか？——彼らは、3人のモサド諜報員が死亡したと言い、さらには名前まで公表したのです。それが面白い事に、彼らが引用したと思われるウェブサイトや通信社は、実際、その二日前に作られていたのです。言い換えれば、彼らはウェブサイトを作成し、通信社の模型を作って、フェイクニュースを広める必要が出たときに、それが本物であるかのように見せかけたのです。私たちはそれらを追跡し…遡って追跡するのは、非常に簡単なことです。これらのドメインが購入された時期や、誰がドメインを購入し、いつ作成されたのかを知るには、コンピューターの天才である必要はありません。ですから、彼らがどれほど絶望的であるか、見ていてとても面白く、非常に楽しいです。彼らは、本当に絶望的です。私に言えるのは、彼らがそれほど絶望的だということは、彼らは向こうで、非常に多くの混乱と混沌の中にあるということです。

〈イランの米軍への攻撃、イエメン・フーシ派のサウジアラビアへの攻撃〉



さて、昨夜の攻撃について、イランは非常に明確にしています。これは、バグダッド国際空港への攻撃で、その空港の中には、ヴィクトリーと呼ばれる米軍基地があって、8発のロケットのうちの3発が、そのエリアに落ちました。一週間前、バラド空軍基地が攻撃され、アメリカの請負業者と海軍兵が重傷を負いました。

私が言いたいのは、イランは、ウィーンで、直接ではなく間接的に、取引に関して、アメリカに話をしていますが、しかし同時に、シリアや、おもにイラクでは民兵を使って、容赦なくアメリカ軍を攻撃しているのです。イランが考える限り、イラクは保護国であって、イランの拡張エリアです。それはおもにシーア派なので、イランにはその責任がある。イラクには、首相や大統領や政府がいるかも知れないが、彼らはイランの操り人形であって、それ以上のものであってはならない。ですから、イランに正当性を与え、イランにより多くの資金を与え、イランを承認すればするほど、彼らが荒れ狂うのを見えています。アメリカ

がイエメンのフーシ派をテロ組織のリストから除外して以来、彼らは更に荒れ狂い、より攻撃的になりました。ところで、リヤド（サウジアラビア）の空では、昨夜も大量の爆発がありました。そして、毎日毎日フーシ派がサウジアラビアを攻撃していることをお伝えします。だから、鬱憤の溜まったイランが、他の人を攻撃できないので、そのすべてをサウジが受けているようなもので、彼らはフーシ派を使って、サウジにできる限りの攻撃をしているのです。非常に興味深いです。

〈米国の制裁により、混迷を深めるトルコ〉

それでは、もう一つ、ここで起こっていることに移りましょう。トルコは本当に修羅場です。バイデン大統領が当選する前、…その方法は言いませんが、彼が当選する前に、彼は既に公にそのことを非常に明確にしました。彼は、エルドアンが気に入らず、エルドアンを倒したいと思っています。バイデンがそう言ったのです。

「彼を取り除かなければならない！」

そして、非常に興味深いことに、48時間以内に、エルドアン政権に対する二つの大きな打撃が、米国側から来ています。最初の一つは、米国は正式にF-35プログラムから、トルコを除外しています。米国は、彼らが調印した

100機のF-35を、トルコには販売しません。そして米国は、F-35の製造プロセスにおけるトルコの役割を、実際に取り消しました。非常に興味深いです。エルドアンは数年前、トルコの武器取引と軍事産業に制裁を課したトランプ大統領に反抗して、プーチンからS-400防空システムを購入しましたが、現在、バイデン大統領が正式にF-35プログラムからトルコを除外しており、これは大打撃です。これでも足りなければ、皆さん、情報源によれば、明日、エルドアンとバイデン大統領が電話会談し、オスマン帝国の灰から新たに形成された、トルコの国によって行われ

た、1900年代初頭のアルメニア人虐殺を、バイデンが承認することが期待されています。それは、トルコの誇りと、彼らはアルメニア人に何も悪いことをしていないように隠蔽するトルコの行為に、大きな打撃を与えるでしょう。もちろん、彼らはやりました。彼らはアルメニア人の多くを殺し、斬殺し、虐殺しました。これは、今の第46代アメリカ合衆国大統領にしては、とても大胆な行動だと言わざるを得ません。エルドアンは今、米国政権が見る限り、正式にアメリカの敵です。そして、間違いなく唯一、エルドアンが駆け込める場所があります。それは皆さんの予想通り、ウラジミール・プーチンです。

NEWS
US: Joe Biden expected to recognize Armenian genocide, sources say
In a move that is bound to infuriate Ankara, US President Joe Biden is reportedly preparing to recognize the genocide against Armenians.



〈ロシアとウクライナとネタニヤフの関係〉

ところで、プーチンは、非常に興味深いことに、ウクライナの周辺に大規模な15万人以上のロシア軍の軍隊を押し進めていました。しかし、今日、ロシアの国防大臣はこう言いました。「我々の演習は終わった。すべて上手く行った。我々は兵士を国へ戻す。」興味深いことに、駐イスラエル・ウクライナ大使は昨日、「ベンジャミン・ネタニヤフは、実際にウクライナとプーチンとの仲介を頼まれている。そして、ベンジャミン・ネタニヤフは、彼らが望むなら、引き受けても構わないと言った」と言いました。誰がいつ、だれに何を言ったのか、私には分かりませんが、数時間後、またしてもロシアの国防大臣が言いました。「演習は成功し、配置も演習であるかのように成功した。だから今、我々は自国軍を、国の基地に帰還させる。」彼は実際にそう言いました。非常に興味深いですね。

〈チャドのデビー大統領死去〉

さて、もう一つお伝えしたいのは、数日前、火曜日の朝だったと思いますが、アフリカのイスラム教国家、チャドのイドリス・デビー大統領が…チャドの位置をご覧ください。



チャドはリビアのすぐ下（南）に位置し、右隣（東）にはスーダンとエジプトがあります。チャドは実際、イスラエルと和平合意を結ぶ寸前で、これは、2019年1月20日に、ネタニヤフ首相がチャドのンジャメナを訪問したときの写真で、サプライズ訪問でした。もちろん、ベンジャミン・ネタニヤフは、ツイッターで、チャドの人々に哀悼の意を表しました。デビーは選挙に当選したほんの数日後、新たに再選された大統領として、

チャド軍がリビアの反乱軍と戦っていた戦場に行き、そして基本的に、彼は戦火に巻き込まれて死亡しました。そして、彼の息子マハマトが引継ぎ、彼はすぐにすべての国境を閉鎖し、少なくともイスラエルが見る限り、情勢は変わらないようです。

〈イスラエルとギリシャの軍事的連携〉

トルコ人にとって、もう一つの大きな打撃は、イスラエルが、ギリシャとの15億ドルの武器取引に調印しました。さて、それ自体、正確には武器取引ではありません。イスラエルは、ギリシャ空軍（HAF）の為に、訓練センターを持つ予定で、我々は、ギリシャ空軍を訓練し、また、それに必要な訓練機や、すべてのシステムを販売します。そして、私たちはそれを担当し、少なくとも20年間運営します。ですから今後の20年間、イスラエルとギリシャは、大きな同盟関係にあります。驚く事ではありません。今日、我々は軍事演習を終え、その軍事演習は次のように呼ばれます。これは実際に、北大西洋条約機構（NATO）の同盟国とパートナー国にとって、ギリシャ国内で行う最大の国際演習です。そして今年、イスラエル空軍がそこにおいて、それらの美しい写真を見てください。昨日、イスラエルの飛行機がギリシャ諸島の上を飛行した時のものです。



「INI OCHOS（イニオチオス）」。INI OCHOS、それが、この軍事演習の名前です。だから、イスラエルが、ギリシャとの取引に調印するだけでなく、イスラエルは、物理的にギリシャ空軍と軍事演習していて、アメリカ空軍も参加しています。

〈イラン協定、制裁解除に混迷する米国〉

さて、イラン協定に関する、イランの話について多くの報告を受けています。ヨーロッパとの話し合いと、もちろん、アメリカは、その行方を聞く為、待機しています。しかし、皆さん、知っておいてください。アメリカの軍隊は不満です。CENTCOMの司令官である、ケネス・F・マッケンジー・ジュニア将軍からほぼ毎日聞こえて来るのは、ほぼ毎日、彼は、現在の状況の事でイランを非難し、あるいはイラン人に言っています。

「何が起ころうとも、彼らがどこにしようと、我々は、イランが支援する民兵と戦い続ける。それは、いかなる協定にも含まれない。」



ケネス・F・マッケンジー・ジュニア将軍

ご存知のように、イランに対する1500以上の制裁があって、そのうちのいくつかは、イランの核開発とJCPOA、共同包括的行動計画に課されています。しかし、イラン革命防衛隊とそのテロ活動に対して、他の制裁が課されています。では、どの制裁が解除され、どの制裁がそのまま残るのか見てみましょう。これがまさに、イランが、すべての制裁の解除を望んでいる理由です。アメリカは、財政的にイランを損なっている制裁のほとんどを解除し、イランが呼吸できるようにする意思があるように聞こえます。

〈エジプトとエチオピア、ナイル川をめぐる問題〉

ここから、今日の主な話題に入ります。さて、多くの人々が、聞いてはいますが、実際にそこで何が起きているのかを、完全に理解していません。つまり、エジプトとエチオピアの間の危機についてです。その危機とは、ダムについてです。実際には、2つのダムです。エチオピアが、自国の領土に、グランドルネッサンスダムを建設していて、青ナイルが、山岳地帯からずっと流れ始める場所です。そして、エチオピアは、貯水池となる場所を作って、そこを水で満たそうと考えていて、それから、彼らには2つの発電所があって、そこで発電します。さて、それはどういう事か？発電するのに、ただ必要なのは、特定の速度で水を出し、それによって、タービンを回転させるだけです。そうすれば、発電します。それだけです。言い換えれば、水は失いません。ただ、水の流れを遅らせるだけ、それだけです。だから、エチオピアは、自分達の為に、水を維持するつもりはありません。ただ、エチオピアが自国民に十分な電力を供給するのに必要な効果を生み出す為に、遅らせるだけです。自国の資源、天然資源です。ちなみに、2011年に、すでに建設が開始されています。さて、このスライドをご覧ください。これはナイル川紛争のスライドです。皆さん、理解してください。ナイル川は、少なくとも、異なる10カ国の巨大な領域を占領しています。つまり、コンゴ、南スーダン、タンザニア、エチオピア、ブルンジ、ルワンダ、ケニア、エリトリア、スーダン、エジプト、だから、エジプトは別として、10カ国以上です。それが、何が残念かというと、エジプトが、他の人のことを全く気にも留めず、エジプトは…ところで、エジプトはエチオピアに対して、非常に激怒していて、今月初めに、スーダンとエジプトの合同空軍軍事演習が行われ、彼らはそれを「ナイル川のイーグル」と呼びました。そして、彼らは、非常に明確に言いました。



「自分たちは、誰かがそこからナイル川の水を盗むことを許さない。」

しかし、一つ言わせてください。言いたくはありませんが、皆さんが理解するためです。ナイル川沿いには、約10カ国があって、ナイル川沿いには、合計、5億3,800万人がいます。ナイル川の年間水流量は、約850億立方メートル、そして、スーダンの首都のハルツームで、ナイル川は実際に白ナイル川と青ナイル川の、2つに分かれています。事実、エジプトから見ると、ハルツームで分かれます。しかしエチオピアから見れば、エチオピアからの青ナイル川と、スーダンから来た白ナイル川は、ハルツームで一つに合併し、はるばるエジプトに下っています。

さて、非常に興味深いものをお見せしましょう。イギリスが、まだ大英帝国で、中東の大部分を支配していたとき、1929年、彼らは、ナイル川の海域をエジプト、スーダン、その他の国とで分けました。彼らが言ったことを見てください。1921年の合意、480億立方メートルの水、56%は、エジプトに属し、40億、つまり5%がスーダンに属し、残りが、残りの国々です。そしてエジプトが、最初から最後まで、川全体を完全に支配する。1929年、エジプトが、皆に代わって決定しました。大英帝国の崩壊、中東での異なる国が登場した後、1959年、別の合意がありました。この時は、スーダンとエジプトの間のもので、他の帝国が、彼らに代わって決定したではありません。そして、彼らはお互いにもっと寛大でした。もちろん、彼らは、残りの部分を全く気にも留めません。

という事で、エジプトは1959年の合意に従って認識していて、555億立方メートルの水、エジプトの人口の19%が、その川沿いにいます。すみません、川沿い住人の19%が、エジプトにいて、1億人です。185億立方メートルは、南北スーダンの5,400万人のもの、3億8,400万人からなる、他の国には、たった110億しか残っていません。だから、ナイル沿いの人々の71%には、水の11%で十分であって、たった19%のエジプトが、65%です。彼らが、自分達の間で水を分割している、この、非論理的な方法が見えますか？現実には、エジプトは555億立方メートル以上を消費していて、毎年、600億立方メートルの水を消費しています。

エジプトは、北部に巨大なアスワンダムを建設し、そこに1680億立方メートルの巨大な貯水池を作って、発電も行っています。だから、たとえエチオピアが流れを止めても、エジプトは、決して水を欠くことはありません。つまり私が言いたいのは、私たちが今見ているものの多く、エジプトが言い、エジプトとスーダンが行っているのは、単なるカモフラージュであって、彼らが戦争をするわけではありません。ところで、エジプトは南部の国境に、ほとんど軍隊の準備ができていません。エジプトは、エチオピアと国境を接しておらず、スーダンが、彼らの間に立ちはだかっています。エジプトが、そのダムに到達する為には、1100キロ渡らなければなりません。イスラエルから、アテネに行くようなもので、彼らは、それをするつもりはありません。エジプトは、攻撃や大規模な軍事行為は計画していません。何かエジプトに出来ることがあるとすれば、ただ特殊部隊を送って、よく分かりませんが、妨害活動か何かをする程度でしょう。それだけです。

なぜエジプトは、この起こっているすべてが、それほど気になるのか？エジプトが、今、水不足に苦しんでいるからではありません。まず第一に、エジプトは、エチオピアが、水がとても良いことを見て、「農業にも使いましょう。」と言うのを、恐れています。そうなれば、水が、エジプトに流れ続けなくなります。もはや遅れるのではなく、なくなります。第二に、エジプトは、前例を恐れているのです。もしエチオピアが、今日、流れを止めれば、明日はエリトリア、次の日はケニア、次の日は他の誰かがするだろう。そして、彼らはナイル川の上に彼らの主権を失うことになる…ところで、彼らは、自分達が主権を持っていると思っていますが、国際社会は、彼らに与えていません。彼らは、ずっと大きかった1929年の英国の権限の後、1959年、自分で取ったのです。ですから、私が言いたいのは、エジプトとエチオピア…エジプトは世界で9番目に大きな軍事力で、エチオピアの軍事力は、世界で60番目です。昨年行われた調査では、138カ国のうち、エジプトは9位、エチオピアは60位です。比べものになりません。エチオピアでも、エジプトでも誰も、ここに軍事戦が起こると思っていない。良いですね？それは非常に明確でなければなりません。伝えられるべきなのは、エジプトが、実際に数百億ドル相当を、新しい海軍装備、新しい海軍基地、新しい空軍基地、新しい潜水艦、新しいフリゲート艦、新しい空母に投資しているということです。つまりエジプトは、彼らの軍隊を開発、彼らの軍隊をアップグレードしていて、それは、エチオピアのせいではないようです。なぜ、それほど強い海軍が必要なのですか？エチオピアは海域にアクセスすら出来ず、エチオピアは、海から脅かしているわけではありません。ですから、間違いなく、エチオピアではありません。多くの専門家が考え、言っているのは、エジプトが、その軍を築いている、主な目的は、おそらくイスラエルだろう、と。興味深いことに、エジプトが隣接する国で安定しているのは、イスラエルだけです。イスラエルは、エジプトの中で唯一の安定した国境です。しかし、多くのエジプトの将軍の心の奥では、イスラエルとの仕事がまだ終わっていません。そして、イスラエルと戦った将軍のグループに属する、アッシーシー将軍は、多分…よく分かりませんが…多分、別の経験のために自国を備えているのでしょうか？

私には分かりませんが、一つ言えるのは、私は聖書を見て、考えています。エゼキエルの戦争が起こり、そして、ロシアとイランとトルコとスーダンとリビアが、イスラエルではなく、イスラエルの神によって敗北する時、エジプトは、そこで起こっている事を見ると、考えを変えたいと思います。エジプトだけでなく、イスラエルに対して陰謀を企てる国は全て、その考えを、変えなければなりません。その時、反キリストが台頭し、中東に平和が

導入されます。だからエジプトがそれほどの事に、ほぼ1000億ドルも、投資しているのを見ると、それがイスラエルのためであれ、イスラエルやイスラエルと関係のあるものに敵対してであれ、それはお金の無駄だと思います。イスラエルは、カイロを占領したり、エジプトに侵攻したりするつもりはありません。私たちにエジプトは必要ありません。私たちに、周りの国は必要ありません。私たちが望むのは、ただ平和に暮らすことです。我々の軍隊は「IDF」と呼ばれていて、イスラエル“国防”軍です。我々は攻撃、襲撃しているのではなく、我が国を守っているのであって、それを続けます。

〈まとめ〉

それから皆さんにお伝えしたいのは…おそらく今、このアップデートの終わりに差し掛かって、私は、皆さんに、一つお伝えしたいのです。皆さんに、理解してほしいのです。私たちは、非常に混沌とした時代に入っています。私の生涯で、軍事的、政治的、霊的に、これほど多くの混乱を見たことがありません。それも世界中です。教会の外、教会の中、ヨーロッパ、アメリカ、中東、中国の地域、フィリピン、すべての地域です。聞いてください。このような混乱から、通常、2つのことが出てくる可能性がある、私は信じています。私は今日、テレグラムに書きました。ちなみに、これは、私が毎日、日に数回書いている唯一のプラットフォームです。そのテレグラムで、私は次のことを書きました。皆さんにご理解いただけるように、今からそれをシェアします。私は、実際に次のことを言いました。

「世界は、何世紀にもわたって経験した事のない規模の政治的、軍事的、霊的な混乱にある。この混乱から、2つのことが出てくるはずだ。第一に、世界新秩序の台頭で、第二にリバイバルの可能性もある。一つ目は、聖書で予告されている。二つ目は、唯一、イエスが主の元に私たちを連れて行くために来られる前に、私たちが行うように命じられている事を、行った場合に限る。それは、何か？世に福音を分かち合い、あらゆる国の人々を弟子とする事。」

一つ目と戦って、時間を無駄にしないでください。「世界新秩序を止めよう!!」二つ目のために戦う事に、あなたの時間を費やしてください。福音を共有し、弟子とすることです。良いですか？世界新秩序がおこるのを、止めることは決してないでしょう。あなたがそれを止めることは、決して出来ません。反キリストの家の外に立って、「私はそれを許さない!」と言うことはできますよ。でも、彼は台頭します。

聖書がすでに告げていて、私たちが知っていることを止めようとする試みは、かなり驚きです。今起こることはすべて、起こるかもしれないし、反キリストが使うかも知れません。多くのことが、彼によって使用されるでしょう。彼は飛行機、コンピューター、車を使用するでしょう。それなら、あなたは、それらを使うのを止めるのですか？彼が、それらを使用するから？非常に合理的になりましょう。私たちは、止めることが出来ないに分かっていることを、止めようとして、多くのエネルギーを費やしています。そして、私たちは、するように言われていることをしません。

私はマタイ 24章 45~46節の、この聖句を思い出します。

45 主人から、その家のしもべたちを任されて、食事時には彼らに食事をきちんと与えるような忠実な賢いしもべとは、いったいどれでしょう。

何ですか？「食事時には彼らに食事をきちんと与える」食べ物とは何ですか？ 食べ物とは誰ですか？

46 主人が帰って来たときに、そのようにしているのを見られるしもべは幸いです。

(マタイ 24:45~46)

「そのようにしているのを見られるしもべは幸いです。」言い換えれば、私たちがそれを行う場合にのみ、祝福されるのです。しかし、だからと言って、それで世界が世界秩序に進むという事実が止まることはありません。実際、近いうちに、私は「世界統一宗教の台頭」に関する新しいメッセージを配信しますが、私たちはすでに、どこまで来ているのかを知って皆さんは、驚きますよ。非常に明確にしておきます。それは起こります。それは、私たちの目の前で起こっています。ですが、敵のものに対して、私たちのエネルギーのすべてを使用する代わりに、主が言われた通り、福音を広め、弟子とし、食事を与える事に、すべてのエネルギーを使わなければなりません。多くを任された、あのしもべ、私たちは、人々にどの食べ物を与えているのですか？

「わたしはパンです。」とおっしゃったのは、どなたですか？

ほら、私たちは、彼らにイエスを与える必要があります。私たちは、彼らに聖句を伝える必要があります。神の御言葉に、彼らを導く必要があります。そして、私たちは、理解しなければなりません。我々の国は私たちを裏切り、我々の指導者は私たちを裏切ります。私たちは、他の人々が多分、投票したり、言ったり、行う事に、失望するでしょう。我々は、失望し、時には屈辱を味わい、時には、笑い者にされるでしょう。

聞いてください。私たちは、この世界に勝つことは、決してありません。主はおっしゃいました。

**33 あなたがたは、世にあっては患難があります。しかし、勇敢でありなさい。
わたしはすでに世に勝ったのです。**

(ヨハネ 16:33)

私たちには、天の国籍が与えられています。ここは、私たちの家ではありませんから。そして、誰でも世を友とする人は、明らかに、自動的に、福音を敵にします。だから、私たちは、この世を説得して、良い世界に変えようとはできません。それでは、イエスが来て、私たちを連れて行く意味がありません。言っておきますが、神の特徴の一つは、神が、すでにすべてをご存知であることです。彼は、すでにご存知です。神の予知能力は驚きです。そして、神が、すべてをご存知なので、彼は、すでに私たちに伝えられたのです。

**1 こういうわけで、もしあなたがたが、キリストとともによみがえらされたのなら、
上にあるものを求めなさい。**

(コロサイ 3:1)

私たちの天の国籍、私たちが本当に属する場所、弟子とし、魂の救い、彼らも、私たちと一緒にそこに行くように。それが、私たちがすべき事です。教会が激しく分裂していて、今ここで敵に反対しようとしているのはとても残念です。私たちがここから出る前に、できる限りの人を救うためにキリストの愛を示すのではなく。信じてください。この世界には、イエスの血よりも強いものは、何もありません。主が、2000年前に流されたもの以上に、あなたを救うことができるものは、他にありません。

だから、皆さんを励ましたいと思います。私たちには素晴らしい約束、大きな約束があつて、私たちにはまた、大きな責任と大きな使命があるのです。この2つを混同しないようにしましょう。この混乱は、どんどん大きく、強くなります。それが発展して、霊的リバイバル、霊的目覚めをもたらすかも知れません。

誰かが言いました。「“霊的目覚め”と言わないで！それは新使徒改革の言語です。」

分かりました。リバイバルです。良いですね？しかし、一つ言いたいのは、人々は、ひどく鬱状態で、神について、大きな質問をし始めています。そこで私たちの出番です。「私は答えを知っている、私は、道、真理、いのちを知っている、あなたを見せてあげましょう。」と言うのです。そして、彼らに陰謀論を伝えるものではありません。彼らに、悪いことをシェアしたり、ただ世界の指導者を責め、これをしろ、それをしろ、と言うものではありません。彼らに福音を伝えるのです！福音を彼らと分かち合う。彼らに良いニュースを伝えてください。イエスの愛を、彼らと分かち合うのですそれが、私たちが、この終わりの時にすべき事です。

さて、ご視聴いただきありがとうございます。私の最新の本、「Israel and The Church (イスラエルと教会)」をまだご購入されていない方は、私たちのウェブサイトでご購入いただけます。また、学習ガイドは、ホームグループでもご利用いただけます。「The Day Approaching (かの日が近づいている)」も、本と学習ガイドがあります。そしてもちろん、私の最初の本「The Last Hour (終わりの時)」は感謝なことにベストセラーで、デビッド・ジェレマイア牧師が推薦文を書いてくださいました。

ご視聴くださり、ありがとうございます。フェイスブック、YouTube、テレグラム、インスタグラムでフォローしてくださり、感謝します。私たちのウェブサイト、beholdisrael.org から、ニュースレターを登録してください。英語を話さない人を知っていれば、24の言語でYouTubeのチャンネルがあって、字幕付きの私のメッセージを見ることができます。

今日はこれで終わりです。最後に、アロンの祝福で締めくくりたいと思います。

ヴェイシエメレハー וַיְשַׁמְרֵךְ ..(主が)あなたを守られますように	アドナイ יְהוָה 主が	イェヴァールレフハー יְבָרְכֶךָ あなたを祝福し				
主があなたを祝福し、あなたを守られますように。						
ヴィーフネッカー וַיַּחַן	エーレーハー אֵלֶיךָ	パーナーヴ פְּנֵי	アドナイ יְהוָה	ヤーエール יָאֵר 照らし		
主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。						
シャーローム שָׁלוֹם 平安を	レハー לְךָ あなたに(主が)賜るよう	ヴェヤーセーム וַיִּשֶׂם あなたに(向けて)	エーレーハー אֵלֶיךָ 御顔を	パーナーヴ פְּנֵי 主が	アドナイ יְהוָה 上げて	イッサー יִשָּׂא
主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。						

(引用：牧師の書斎 <http://meigata-bokushin.secret.jp/>)

※ 連続して発音する場合は以下

イェヴァールレフハー アドナイ ヴェイシエメレハー
 ヤーエール アドナイ パーナーヴ エーレーハー ヴィーフネッカー
 イッサー アドナイ パーナーヴ エーレーハー ヴェヤーセーム レハー シャーローム

(民数記 6:24-26)

彼のシャーローム、その平和は、すべての理解を上回ります。戦うのをやめ、怒るのをやめ、一日中抵抗するのをやめ、神が私たちに与えることができる平和を生き、平和の源があることを、世界に示してください。彼の名は平和の君、イエシュア・ハマシアハ、主の御名によってお祈りします。アーメン。アーメン。ありがとうございました。God bless you! イスラエル、ガリラヤより、シャーローム。

2021年4月23日 初回公開



← スマートフォンなどのカメラで読み込むと、このメッセージを YouTube で見られます。
 ≪ リンク先: <https://youtu.be/yfx52ek4XvU> ≫

メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel
<https://beholdisrael.org>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>